

News Release

報道関係者各位
2024年7月23日

マニユライフ生命、more trees と森林再生に向けたパートナーシップを締結、 2024 年秋にプロジェクト始動

- 和歌山県田辺市における植林活動パートナーシップ
- 森林の生物多様性回復を目指すプロジェクト

マニユライフ生命保険株式会社(取締役代表執行役社長兼 CEO:ブノワ・メスレ、本社:東京都新宿区、以下「マニユライフ生命」)は、森林保全団体である一般社団法人 more trees(モア・トゥリーズ)(代表:隈研吾、本部:東京都渋谷区、以下「more trees」)とパートナーシップを締結し、2024 年秋から和歌山県南部に位置する田辺市にて森林再生プロジェクトを始動いたします。

日本は国土の約 67%が森林で占められています。しかしながら、戦後はスギやヒノキなどの市場性の高い樹種を中心に造林が進んだため、日本の森林の多くは生物多様性に乏しい状況が続いています。このたびのマニユライフと more trees とのパートナーシップは、在来種を適切に植栽することで森林の生物多様性を回復させ、地元の専門家や学術機関と協力し、持続可能な森林管理を行うことを目的としております。本プロジェクトの植林は、マニユライフが世界中で持続可能な未来を加速する取り組みの一環として 2024 年秋に開始する予定です。

マニユライフ生命は、お客さまとご家族の将来の経済的な安心を支える生命保険会社として、「持続的な心身の健康の増進」「インクルーシブなビジネスチャンスの促進」「持続可能な未来への加速」の 3 つを柱とした「[インパクト・アジェンダ](#)」を社会貢献活動の中核としています。more trees とのパートナーシップは、当社のインパクト・アジェンダに沿ったものであり、国連の持続可能な開発目標(SDGs)15:「陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の促進、森林の持続可能な管理、砂漠化との闘い、土地の劣化の阻止と回復、生物多様性の損失の阻止」とも関連しています。

マニユライフ生命は今後もさまざまな活動を通じて、社会によりよいインパクトを与える企業を目指してまいります。当社の社会貢献活動については、[公式ウェブサイト](#)をご覧ください。

一般社団法人 more trees(モア・トゥリーズ)について

一般社団法人 more trees(モア・トゥリーズ)は、音楽家 坂本龍一氏が創立し、建築家 隈研吾氏が代表を務める森林保全団体です。加速する森林破壊と地球温暖化の危機的状況に行動を起こすために、100 名以上の賛同人とともに 2007 年に設立されました。国内外 22 か所に「more trees の森」を展開し、地域と協働で森林保全を行うほか、国産材を活用した商品やサービスの企画・開発、セミナーやイベントを通じた森の情報や魅力の発信など、「都市と森をつなぐ」をキーワードに「森と人がずっとともに生きる社会」を目指したさまざまな取り組みを行っています。

マニユライフ生命について

マニユライフ生命は、カナダを本拠とする大手金融サービスグループ、マニユライフ・ファイナンシャル・コーポレーション(マニユライフ)のグループ企業です。お客さまがより簡単に最適な保障を選択し、より良い毎日を送るためのお手伝いをします。当社に関する情報は、公式ウェブサイト(www.manulife.co.jp)、および LinkedIn アカウント(<https://www.linkedin.com/company/manulife-japan/>)をご覧ください。